

一箱古本市出店者リスト

※順番は申し込み順

	一箱古本市 屋号	プロフィール
1	<u>くろくろ書房</u> (くろくろしょぼう)	2017年10月秋田市の一箱古本市に初出店し、以降クラフト市やフリーマーケットに不定期出店しています。 2019年4月秋田市新屋のクラフト市「ものまちさんぽ」一箱古本市に出店し好評の為、春・秋に一箱古本市の定期開催を目指しています。2018年9月「はっちの一箱古本市」県外に初出店。雑貨店、本屋、カフェ・・あちこちうろうろしています。そういったジャンルの本を出品するので宜しくお願いします。
2	<u>灯書房</u> (あかりしょぼう)	秋田市から出店する灯書房です。東北各地や新潟市と今年は鎌倉市まで一箱古本市でご当地の皆様と本談義をして楽しんでおります。目印は灯書房の旗を掲げておりますので是非声をかけて下さい。皆様のお越しをお待ちしております。
3	<u>こたつ堂</u> (こたつどう)	本はお好きですか？もちろん大好きですよ！本好きマニアックな私達がおすすめる本をぜひ手にとりに来て下さいね。
4	<u>かまねこ文庫</u> (かまねこぶんこ)	岩手から参加します！ 八戸の皆さんの本への熱意にはいつも刺激を受けます。 猫や暮らし、旅などの本が多めになる予定です。
5	<u>モノクル書房</u> (ものんくるしょぼう)	本の出会いは人の出会いと同じです。 その出会いがあなたの一生を変えるかもしれません。 純文学からサブカルまで、 そんな出会いにつながる本をお届けします。
6	<u>おひさま書房</u> (おひさましょぼう)	過去二度の出店でとても楽しい時間を過ごすことができました。今回も皆さまとの出会いを楽しみにしています。
7	<u>シグナレス</u>	今年も一箱古本市の開催が決まってうれしいです。年に1度、本の整理をしながら出す本を決めていく作業の何と楽しいこと。年に二回でもいいのになぁと思いつつ、今年も本好きの皆さんに手に取っていただけるような本を持って行きます！
8	<u>アマルコルド吉田</u> (あまるこるとよしだ)	はっちの一箱古本市には過去2回出店しています。東京では鬼子母神のみちくさ市に、時々参加するくらいです。 好きな本は映画、写真、文学、音楽に関係したものなら、なんでも好きです。 私の好きな本だけを持って出店したいと思います。
9	<u>積ん読屋</u> (つんどくや)	2015年の第1回松本一箱古本市に参加したのが初めてです。車を走らせ、この町の皆さんとの出会いを楽しみにしています。よろしくお祈りします。
10	<u>kamebooks</u> (かめぶっくす)	亀と酒と本を愛する店舗のないインディーズ本屋です。亀がのんびりと日向ぼっこするように、のんびりと本を並べ、のんびりと本を売ります。

	一箱古本市 屋号	プロフィール
11	伊織庵 (いおりあん)	最近、電子書籍にも手を出していますが、紙の本には紙の本のよさがあり、本棚はまだいっぱいです。1回目から出店、ただ今、皆勤出店です。今回も、よろしくお願いします。
12	佐々木氏ルーツ本専売店 (ささきしる一つぼんせんばいてん)	本名は「初・続・続々の『佐々木氏一族のルーツをたずねて』の3冊です。佐々木氏は全国13番目に多く、支・分流あわせると300万人をようする一大氏族です。八戸市、十和田市、盛岡市では断トツに多く、南部藩は佐々木藩とも巷で言われています。その佐々木氏のルーツに関する様々な情報や姓数、家紋等についてまとめております。佐々木一族の方々にとっては、必見・必読の貴重な本です。豪華本を超格安で販売いたします。
13	紫苑文庫 (しおんぶんこ)	昨年初出店させて戴きました。①58年前からの宮澤賢治ファンで「八戸・賢治を語る会」に所属。月例会の資料作成担当。(全集・作品集・作者に関する本など多数所有)②四十年余、詩吟を学び、漢詩や歴史関連の書あり。③三浦哲郎文学顕彰協議会会員。地元の大作家の本を多数所有。④三十年余、俳句会「青嶺」に所属。俳句の本をいくらか所蔵。(因みに出店名は俳号から) 出店に際しては、宮澤賢治と三浦哲郎以外の所有本を予定。
14	馥郁 (ふくいく)	昨年の春に一度、雑司ヶ谷の商店街で開かれた一箱古本市に参加しました。まだ肌寒い天気でしたが人出もあり、本好きな人々との出会いは快いものでした。最近、建築に関する読書が増えています。
15	八戸ペンクラブ古本まつり 本のまち・ブックフェス (はちのへべんくらぶふるほんまつりほんのまちぶっくふえす)	八戸ペンクラブでは書籍や活字に親しむ地域の方々と交流を深めようと毎年、読書の秋、独自の古本まつりを開き「はっち」一箱古本市にも参加してきました。同趣旨から「八戸ブックセンター」主導の古本市へも参加いたしたく。当クラブが収蔵する古書類は会員や一般市民から協力の文庫本、新書、単行本、専門書、雑誌などです。一箱古本市の魅力を生かせるようさらに努めて参ります。
16	よたか堂 (よたかどう)	絵を描き展示をしながら、各地の一箱古本市に100回以上参加しています。屋号は宮沢賢治の「よだかの星」からとっています。本の内容をイメージしたオリジナルの表紙も描いています。
17	ひとます (※漢字表記はくにがまえに「仁」)	農業をやっています。晴耕雨読で人に勧めたい本を紹介したり、してもらったりしてみたいです。
18	ぱったりたおれ屋 (ぱったりたおれや)	八戸の一箱古本市は6年連続6回目の皆勤賞！東北の一箱古本市を中心に出店している自称ヒトハコフルホニスト。本担当・兄とあみぐるみ担当・妹の残念なコンビが八戸にお邪魔します。
19	つき屋 (つきや)	主に北東北を中心に活動しています。今年もよろしくお願いします。
20	京屋 (きょうや)	あおり古書市への参加を御縁に、この度一箱古本市に出店させていただきます。普段はお絵かきを主に活動しています。一箱古本市には、わたしの本棚にある物の一部を持っていく予定です。そんな本達がいちいんな人達の本棚の一部となれたなら、とてもうれしく思います。

21	八戸工業大学文芸愛好会 (はちのへこうぎょうだいがくぶんげいあいこうかい)	普段は大学の文芸愛好会に所属しながら、エブリスタを初め、様々な小説サイトで執筆活動を行っている。前々から本を通じた交流会には興味があり、いずれ参加したいと思っていた。今年市外への就職が決定し、今後八戸市で行われている本に関する催しへの参加が難しくなった。そこで本を通じた交流会でもある古本市に参加し、四年間世話になった愛好会への恩返し、並びに本について参加者と語り合いたいと思っているから。
22	X・トレイル (えくすとれいる)	昭和40年代～50年代のレコードを聞いています
23	村次郎の会 (むらじろうのかい)	私たちは、八戸市の詩人 村次郎の全詩集の刊行を始めとし、村次郎の業績を広く市民に知ってもらうための活動をしています。村さんのことを、そして私たちの活動を知っていただきたく、昨年に続き出店します。
24	ゴントロウ書店 (ごんたろうしょてん)	2016年にはちの一箱古本市に出店して以来、2度目の参加です。心の中にワクワクと緊張が同居中ですが、たくさんの方とお会いできる事を楽しみにしています。
25	セカンドハンドブック カサ ブランカ	普段は本と関わるのは読者としてで、このようなイベントも含めて本を販売する側になったことはありません。私の好きな本のジャンルは健康法や料理のレシピ本、雑誌だと音楽誌や映画誌も好きです。面白いと特にジャンルは問わず、いろいろな本を読みます。出店は初めてなので、とてもドキドキしていますが、どんなイベントになるのか、今から楽しみです。
26	黒魔女隊 (くろまじょたい)	初めての出店のためドキドキしていますが、昼休みには図書室に入りびたるほどの本好きです。本友(本友達)を作りたいです!
27	童話堂 (どうわどう)	絵本の世界観が好きです。ブースも可愛い物語の中のような雰囲気販売したいと思います。
28	のっけ本 (のっけぼん)	昔、好きで読んでた雑誌を集めて共通の話が出来るとうれしいです。普段はふつうの人です。昔話に花さかせたら、幸いです。